

令和5年度 旭川市中央公民館地域フォーラム議事録

日 程	令和5年10月27日（金）13：30～15：00
場 所	中央公民館 2階 第1学習室
参加者	<p style="text-align: right;">（敬称略）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央地域包括支援センター センター長 高橋 聡 ・朝日地区市民委員会 会長 藤本 久司 ・朝日地区市民委員会 女性部長 高木 美江子 ・朝日地区社会福祉協議会 会長 山岡 好子 ・朝日地区民生委員児童委員 プルメリア代表 素野 香織 ・朝日地域食堂ひまわり 代表 村谷 美鈴 ・中央公民館百寿大学運営委員会 副委員長 坂牛 光子（※委員長代理） ・中央公民館サークル団体連絡協議会 会長 目黒 匡 <p>※欠席</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝日地区市民委員会 防火部長 素野 悟 ・朝日地区民生委員児童委員協議会 会長 岡部 千秋
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・中央公民館 館長 安住 真哉 ・中央公民館 専門指導員 岡崎 良昭
次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 公民館からの報告 <ol style="list-style-type: none"> (1) 中央公民館施設利用状況について (2) 中央公民館事業活動状況について (3) 中央公民館利用者アンケート結果について 3 公民館事業活動への意見交換 4 その他 5 閉会
1 開 会	
	<ul style="list-style-type: none"> ・館長あいさつ ・出席者及び事務局の紹介（名簿配付により省略）
2 公民館からの報告（要約）	
事務局	<p>PowerPoint 及び配付資料に基づき報告した。</p> <p>(1) 中央公民館施設利用状況について</p> <p>ア 各公民館の年間利用者数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度実績 中央公民館は全14中3番目に多い44,911人。 この順位は長らく同じ。 ・前年比7,976人増，率にして21.6%増。 ・14公民館の合計は前年比34.4%なので，全体の傾向よりは増加率は少なめ。 <p>イ 過去5年間の推移</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナが猛威を振るっていた令和2・3年と比べると，若干ではあるが回復傾向がう

かがえる。

- ・しかし、令和4年は感染症の分類が2類相当で活動自粛ムードが続いていたため、コロナ前の水準には回復しなかった。

ウ 今年の利用状況と過去の比較

- ・H30年からR5までの6年間について、各年度9月末現在で比較した。
- ・今年の5月から感染症の分類が5類に下がり、感染防止対策も緩和されたところだが、今年度も令和4年とほぼ同じ状況であり、コロナ前の水準までには回復していない。

(2) 中央公民館事業活動状況について

ア 家庭教育支援

(7) 子育てサロン

- ・毎月1回第3水曜日の午前に開催。朝日地区民生委員児童委員協議会との共催。
- ・対象は乳幼児とその親。
- ・入退場自由。
- ・季節にちなんだ行事を楽しみながら、子育ての悩み相談や情報交換。

(1) そうなんだ！育児のあれこれ講座

- ・令和4年度まで実施していた「親子で遊ぼうねうぼら」の代わりに令和5年度から新規で開催するもの。対象は乳幼児とその親で事前申込制。7回開催で各回10組。
- ・これまでより学習に重点を置き、離乳食・栄養相談、ベビーマッサージ、アンガーマネジメント等の内容で実施。
- ・各分野の専門講師を招き説明をいただきながら妊娠や子育ての悩み相談や情報交換。
- ・10月までに4回実施済みで、後3回実施予定。

イ 青少年教育

(7) キッズフェスタ in サマー

- ・令和4年度に再開し、今年度も実施。
- ・今年は、食品サンプル作り、魚拓製作、陶芸の3つのメニューを実施。
- ・食品サンプル作りは、諸事情で定員14人としていたが、希望者全員を受け入れることができないくらい、とても人気があった。
- ・魚拓製作や陶芸も個性的で立派な作品ばかりであり、参加者の満足度は高かったようにうかがえた。

(1) ヤクルト健康講座

- ・昨年度、ヤクルト北北海道さんに協力をいただいて、インターネットを活用した工場見学とヤクルト製品を使ったデザート作りの講座「ヤクルト健康講座」を新規で実施。
- ・今年度も、キッズフェスタ in ウィンターの一つのメニューとして継続する予定。

ウ 成人学習

(7) ふれあいコンサート

- ・毎月第2水曜日に開催されている朝日地区社会福祉協議会主催の「ふれあいサロン」に合わせて実施。
- ・演奏依頼団体は、基本的に当館の登録団体をお願いしている。
- ・今年度は、5月はハーモニカ演奏、9月は大正琴演奏、10月はオカリナ演奏をもらった。
- ・懐メロや童謡など幅広いジャンルの曲を演奏していただいた。

・今後も、12月、1月、3月に開催を計画している。

(イ) 地域食堂ひまわり

- ・朝日地区ひまわりの会との共催。
- ・地区市民委員会、地区社会福祉協議会、地区民生委員児童委員協議会、中央地域包括支援センターなど、地域の関係団体の協力をいただいで実施。
- ・昨年までは、コロナの関係で事業縮小していたが、今年は、ほぼ通常の規模に戻り、4回実施済み。
- ・地域が一体となった大変賑やかなイベントであり、公民館の関与することはできて、嬉しく思っている。

(ウ) ゆるっと人生デザイン

- ・中央地域包括支援センターとの共催で、高齢化に役立つ内容の講座を開催してきており昨年は、「終活セミナーin中央公民館」を開催。
- ・今年度は、中高年を対象に、豊かな老後の人生を送ることに役に立つような健康づくり、認知症予防、栄養を考えた食事など、幅広い学習の機会を提供する内容にリニューアルして実施する予定。

(エ) 健康講座各種

- ・今年度も通年開催の講座「男だけの運動教室」を実施。ほかには、食中毒予防講座、病院・お医者さんとの上手な付き合い方の講座を実施。

エ 高齢者学習

- ・概ね65歳以上が対象。高齢化の進展に伴い、参加者の平均年齢が高くなっているように感じる。
- ・百寿大学は、5月11日に開講。今年度のこれまでの学習等の実績を、写真とともに紹介。
- ・このほか、例年実施している百寿大学の学生及びOBを中心としたシニアパソコン講座及びシニア手芸講座も今年度は計画どおり開催中。

オ 団体育成・市民参加・展示発表・広報

(ア) 生涯学習活動団体登録数

- ・11月1日現在80、昨年より5団体減。

(イ) 中央公民館ギャラリー展示

- ・事務室前の壁を展示スペースとして、令和3年度から申し込み制でサークルの作品を展示。
- ・今年度は、今のところ5団体から申込を受けており、各々展示期間は最大で1か月程度。
- ・百寿大学作品展でも使用。

(ウ) まなびネット等による情報発信

- ・まなびネットのほか公民館ホームページでの情報発信、Facebookで各事業案内などの情報発信を随時行っている。

(エ) 公民館だよりの発行

- ・講座の案内や開催状況の紹介をメインとした公民館便り（中央公民館広報誌「ちゅうおう」）は、今年度は未だ発行できていない。できれば年明けには発行したい。

カ 情報提供・展示（写真）

- ・ポスターなど館内掲示はこれまで同様、玄関やロビーで行っている。常設のスペース

では不足気味のため、講座室前や連絡BOX向かいの黒板にも掲示している。

- ・毎年のことだが、春から夏にかけて切り花や季節を感じる様々な植物を頂く機会が多く、たくさんの来館者に喜ばれている。

キ 第33回中央公民館芸能発表会

- ・中央公民館芸能部門サークル・団体連絡協議会の主催。
- ・今年は4月16日（日）に開催。
- ・参加団体は前年度より7団体増え、人数も60人増えた。
- ・次回は、来年3月31日（日）に開催予定。現在、準備中。

(3) 中央公民館利用者アンケート結果

7月15日から8月14日までの1か月間で実施。

337人から回答あり、前年より54人多かった。

ア 「施設等の快適さについて」の問い

- ・「良い」「おおむね良い」で93.8%であり高評価。
- ・前年が91.5%なので、ほぼ変わっていない。
- ・一方で、意見・要望としては、建て替え、駐車場の拡張、エアコンの増設などたくさんあった。
- ・対応できるものは、随時、対応しているが、建て替えや駐車場の拡張などは、利用者として当然の要望だと十分理解できるが、なかなか対応が難しいのが現状。
- ・特にエアコンの増設については、近年の猛暑傾向から、確実に必要性が増しているのので、何とかしたいと考えており、来年度の予算に要求をしているところ。しかし、このことは全公民館共通の課題であり、厳しい財政状況の問題もあり、要求どおり認められるかはわからない。
- ・このほか、ブラインドの故障、今年の3月に発生した外壁の損傷、7月に発生した研修室の窓の破損についても、修繕の予算を要求しているところだが、これも、エアコンの件と同様に、認められるからは不明。

イ 「職員の対応について」の問い

- ・「良い」「おおむね良い」で98.2%と高評価。
- ・今後も、慢心することなく丁寧な対応に努める。

ウ 「公民館は交流や情報交換の場になっているか」の問い

- ・「なっている」「まあまあ」で97.1% 「不十分」は0.9%
- ・前年度とほぼ同じ。

エ 「公民館からの情報提供が役に立っているか」の問い

- ・「はい」「まあまあ」で90.5% 「いいえ」は3.0%
- ・前年度とほぼ同じ。

オ 「公民館の講座に参加したことがあるか」の問い

- ・「はい」は26.4% 「いいえ」は63.5%
- ・前年度と同じ。

カ 「前の質問に「はい」と答えた89人に対して参加した講座は役に立ったか」の問い

- ・「はい」「まあまあ」で92.1%
- ・前年度より7.9%減。特に「はい」で見れば19%減となっており低い結果となった。

キ 「同じく89人に対して、公民館の講座を通じて人とのつながりができたか」の問い

- ・「はい」「まあまあ」で79.8%
- ・前年度より3.5%減。

ク 上記3つの結果からは、参加してみたいと思えるような講座が少ない、講座参加によるメリットをあまり感じることができないといった評価が見え隠れしている。

この結果を真摯に受け止めて、多くの方に関心を持ってもらえるような魅力のあるテーマの講座の提供に努めていきたい。

ケ 「館内W i - F iを利用しているか」の問い

- ・館内W i - F iは今年の3月から供用開始となった。
- ・利用は、団体単位に申請をしてもらっている。
- ・「利用している」が12.5%、「利用していない」が71.8%という低調な結果。
- ・利用事例 会員相互の連絡、調べ物、参考資料の閲覧、各種データの送受信など。
- ・現在のところ、中央公民館と江丹別公民館だけに導入されている設備なので、サークル活動などで積極的に利用していただきたい。

(4) 質疑応答及び意見

参加者A

<質疑>

サークルの会員年齢が高齢化してきており、だんだん2階に登るのが大変になっている。2階に登れないためサークルを辞めるといった人も出てきたため、定例活動の曜日を1階の室が空いている曜日に変更するなど調整に苦労している。

市内公民館の多くは、エレベーターがない。手すりにつける簡易な昇降機なら100万円台でできるということを耳にしたため、過去にもお願いした経緯があるが、この件について、何とか対策はないか。

事務局

<応答>

この要望はとても理解できるところだが、当館は築90年の建物であり、構造上からもエレベーター設置は困難である。また、手すりにつける簡易な昇降機も安全面で心配がある。この問題は、新築で建て替えてもしない限り解決しない。

現状、建て替えということは財政面や市の将来像を踏まえるとかなり難しいだろう。

大変心苦しいが、如何ともし難いことを御理解願いたい。

参加者B

<質疑>

体操のサークルで公民館を利用しており、室を使用する際は、テーブルを畳んで片付ける必要がある。第1学習室は、キャスター付きで軽いテーブルなので良いが、第2学習室のテーブルはキャスターが無く古くて重い。何とかならないか。

事務局

<応答>

中央公民館の長テーブルは、第1学習室を除き殆どが古くて重いものになっている。

備品購入費の予算が少ないため、要求してもすぐには更新できないのが実情。

備品の更新費用はもとより修繕費用も予算的に厳しいところ。

要望としては、とても理解できることなので、今後も粘り強く予算要求していくとともに、新たな財源確保等についても研究・検討していきたいと考えている。

<p>参加者 F</p> <p>事務局</p> <p>参加者 G</p> <p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・段々とそういったニーズが高まってきたら、金融リテラシーの学びを含め検討する必要があると思う。 ・また、スマートフォンはこれからの必需品であるので、適切な使い方を学びたいニーズがあるのは承知しているので、検討していきたい。 ・この場所に公民館があることが有難く、地域の宝であるので存続してほしい。 ・地域の子供向けに地域食堂を実施しているが、もっと子供達に公民館の存在を知ってもらいたいので子供達の往き来を増やすような取組をしてほしい。 ・今年から学習支援（放課後自習室）が実施されているが、もっと強化してもらいたい。 ・今年の春から放課後自習室として、毎週金曜日の15時から17時まで第1学習室を開放して実施しているが、PR不足が原因で利用が極めて少ない。 ・また、現状は場所を開放しているだけであるため、魅力が乏しいのかも知れない。 ・勉強を見てあげるとかのサポート体制があれば、アピールポイントになると思うが、そういったサポートできる者の用意がなかなかできない。 ・また、当館はWi-Fiが整備されているので、適正に見守っていないといつのまにか自由にゲームができる溜まり場になってしまう恐れもある。 ・魅力を高めて事業を続けていくには、そういった面の課題解決が必要になってくると考えている。 ・貴重な意見として参考にさせていただく。 ・公民館利用者が減ってきているが、コロナの原因ばかりではないと思う。 ・少子高齢化など様々な社会的要因が背景にあるのではないか。 ・当地域に限らず全体的に言えることだが、高齢者になっても働いている者が増えてきていることも要因だと考える。 ・また、趣味の多様化や学ぶことができる機会やチャンネルが多様化しているなど、公民館以外の活動の場所が増えている現実もあると思われる。
<p>4 閉会</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ・参加への謝辞を述べ終了。 <p style="text-align: right;">以上</p>